

米中首脳会談で追加関税を猶予

ポイント① 90日以内の合意を目指す

11月30日、12月1日にブエノスアイレスで行なわれたG20（20カ国・地域）首脳会議に出席した米国のトランプ大統領と中国の習近平国家主席が、会談を行ないました。

中国が米国からの農産物、エネルギー、工業製品などの輸入増を認めた一方、米国は来年1月から2,000億米ドル相当の中国からの輸入品の関税を10%から25%へ引き上げることを見送りました。米国は①米企業への技術移転強要、②知的財産権保護、③非関税障壁、④サイバー攻撃、⑤サービスと農業の市場開放の5分野で中国と協議し、90日以内に合意できなければ、2,000億米ドル分の関税を25%に引き上げるとしています。

米国の追加関税措置拡大の先送りにより、金融市場の不安感はある程度緩和されると見られます。

ポイント② 米国の貿易赤字は拡大傾向

2018年の米国の貿易赤字は、図1が示すように、昨年より拡大する方向で推移しています。米国の中国に対する貿易赤字も拡大傾向です。このため、高関税賦課によって輸入を抑制したり、中国などの貿易相手国に圧力をかけて米国からの輸出を増やそうとする政策を、トランプ政権が緩めることは期待しにくいでしょう。

ポイント③ 広範囲の経済摩擦

さらに、米中間の経済摩擦問題は、上に挙げられた協議の対象項目を見てもわかるように、貿易に留まらず、広範囲にわたります。中国のGDP（国内総生産）は、人民元の購買力平価を基準に換算したベースでは、図2が示すように2014年に米国を逆転し、市場為替レートで換算したベースでも米国に迫っています。米国側には覇権が脅かされるとの懸念があるため、問題の解決は容易でなく、米中交渉が難航する可能性があります。

図1：米国の財貿易収支

		(100万米ドル)		
		2017年1-9月	2018年1-9月	変化率/幅
全体	輸出	1,138,583	1,242,287	9.1%
	輸入	1,723,177	1,885,377	9.4%
	収支	-584,594	-643,090	-58,496
中国	輸出	90,520	93,363	3.1%
	輸入	364,709	394,731	8.2%
	収支	-274,189	-301,368	-27,179
その他	輸出	1,048,063	1,148,924	9.6%
	輸入	1,358,468	1,490,646	9.7%
	収支	-310,405	-341,722	-31,317

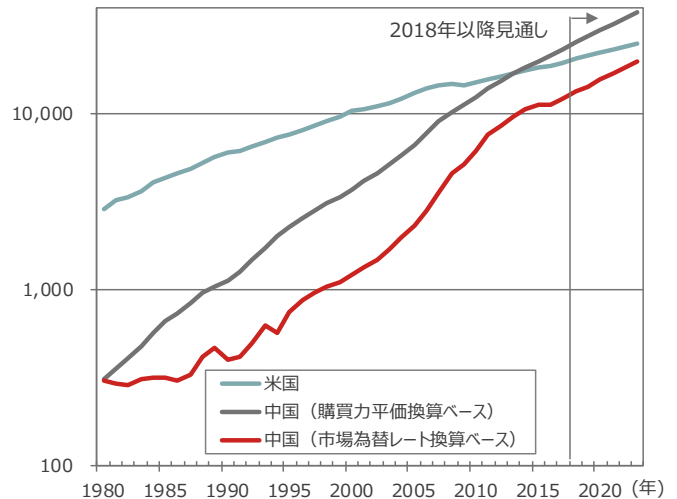
(注) センサス統計ベース、季節調整前値。

(出所) 米商務省データより野村アセットマネジメント作成

図2：米国と中国のGDP

期間：1980年～2023年、年次

(10億米ドル、対数目盛)



(注) 2018年以降はIMF（国際通貨基金）による見直し。

(出所) IMFデータより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

12月6日 米国貿易収支（10月）
12月8日 中国貿易収支（11月）
12月19日 米国金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。